

事業番号	05 07 03	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課		
		実施期間	H6 ~	E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	健康寿命						
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実						

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 難病： 難病患者が地域で安心して療養しながら暮らしを続けていけるよう、医療費を助成するとともに、難病相談支援センター及び保健福祉事務所における相談等患者支援体制を充実させ、難病診療連携拠点病院を中心とした、早期に正しい診断をつけるための難病診療体制の構築を図る。 骨髄： 関係機関と協力した普及・啓発の推進によりドナー登録者を確保するとともに、県民がドナー登録及び骨髄等の提供をしやすい社会の実現を目指す。 その他疾病： 正しい知識の普及啓発、医療の質の向上に努め、地域における疾病対策の推進を図る。	
	【これまでの取組】 難病： 難病法の施行に伴い平成27年度から難病相談支援センターの相談員を2名に増員し体制の強化を図るとともに、保健福祉事務所における交流会等の充実、また難病対策連絡会議等で多職種による連携を図り、難病医療提供体制について検討 骨髄： 7保健福祉事務所にてドナー登録を受付。骨髄バンク推進月間に合わせて造血幹細胞移植の普及啓発を実施。また、市町村がドナー等へ助成金を支給した場合にその一部を補助する補助金を創設	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病の疾患数は増加しており、疾患は多岐に渡るため、患者及び家族、支援者等の相談窓口の必要性は高まっている。 病気の進行に合わせ、適切な時期に適切な支援が必要となるが、難病患者に関わる支援者が学べる機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談のニーズは高まっているため、難病相談支援センター相談員及び保健福祉事務所保健師等により、今後も難病患者及び家族等に対し、電話・面談・訪問等による支援を継続する。 難病患者の個別性に合わせた、適切な療養生活支援ができるよう支援者に対する研修会の開催を継続する。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 個別事業の執行見込みに伴う増 R2国庫補助金確定による国庫返還金の増
--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
						R1年度				R2年度	R3年度						
														前年度繰越	0	0	0
														当初予算	2,105,846	2,197,921	2,347,557
														補正予算	461,227	436,309	418,068
														合計(A)	2,567,073	2,634,230	2,765,625
														うち一般財源	1,528,137	1,111,136	1,398,245
														決算額(B)	2,535,077	2,604,181	
														職員数(人)	8.8	8.8	8.8
成果指標設定理由	1及び2： 難病患者の生活上の不安が大きいことを踏まえ、難病相談支援センター及び保健福祉事務所における患者支援の回数、また難病患者等ホームヘルパー養成研修受講者数を成果目標に設定 3： 当該値の上昇はドナー登録者数の増加に起因するため、成果目標に設定																

事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
-----	---------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
1	難病対策推進事業					当初予算	2,345,884
						補正予算	417,779
		計	2,564,953	計	2,632,571	計	2,763,663
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特定医療費助成事業	負担金	指定難病の治療に係る医療費の自己負担分（患者一部負担額を除く）の公費負担により、難病の原因究明及び治療法の確立、患者の経済的負担の軽減
2	特定疾患治療研究事業	補助金	特定疾患、先天性血液凝固因子障害等の治療に係る医療費の自己負担分の公費負担、及び特定疾病の治療に係る医療費の自己負担分（患者一部負担額を除く）の公費負担により、患者の経済的負担の軽減
3	難病特別対策推進事業	委託	難病診療連携拠点病院である信州大学医学部附属病院へ難病診療連携コーディネーターを配置、難病医療ネットワークへの参加、在宅難病患者の一時入院の調整、在宅で療養する重症難病患者に係る一時入院に係る病床確保協力金を支給
4	骨髄提供希望者登録推進事業	直接	関係団体と協力した普及啓発活動により県民の骨髄等の移植に関する理解を促進するとともに、骨髄等の提供を希望する者がドナー登録や提供を行いやすい環境を整備
5	遷延性意識障害者医療費給付事業	直接	遷延性意識障害者の治療に係る医療費の自己負担分を公費負担し、遷延性意識障害者の医療の推進と患者家族の経済的負担の軽減
6	療養生活環境整備事業	委託	・難病相談支援センターを信州大学医学部附属病院へ委託 ・電話・面談・訪問等による相談支援、患者会支援等
8	在宅難病患者コミュニケーション支援事業	直接	在宅難病患者が意思伝達装置等の療養生活支援機器を選択する際の支援を行う医療機関や訪問看護ステーション等の支援者に対する研修、機器貸出を実施

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
2	その他疾病対策事業					当初予算	1,673
						補正予算	289
		計	2,120	計	1,659	計	1,962
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	生活習慣病対策推進事業	直接	クリティカルパスを担う若手医師の育成等を目的とした研修会を開催するとともに、医療機関の研修会への出張講座を開催
2	アレルギー疾患対策推進事業	直接	県内関係者による連絡会を開催し、地域の現状把握や課題の検討、アレルギーに関する正しい知識の提供等について意見交換を実施
3	循環器病対策推進事業	直接	国の「循環器病対策基本計画」策定を踏まえ、関係者による意見交換の場を設け、最適な医療提供体制を整備